

Netfinity クライアントサービス SA88-6557-00

クイックガイド Version 5.2

IBM

Netfinity クライアントサービス SA88-6557-00

クイックガイド **Version 5.2**

お願い

ここに記載されている情報とそれに対応する製品を使用される前に、37ページの付録B、『特記事項』にある一般情報を必ずお読みください。

第 1 版 (1998 年 8 月)

原 典	10L9269 Client Services for Netfinity Manager Quick Beginnings
発 行	日本アイ・ピー・エム株式会社
担 当	ナショナル・ランゲージ・サポート

本書について	v
本書の対象読者	v
第1章 Netfinity の製品説明	1
ロードマップ	3
本書の表記規則	4
第2章 システム要件	5
Netfinity クライアントサービス (OS/2 版) のシステム要件	6
Netfinity クライアントサービス (Windows 版) のシステム要件	8
Netfinity クライアント サービス (Windows 95 版) のシステム要件	9
Netfinity クライアントサービス (Windows NT 版) のシステム要件	11
第3章 インストール・プログラムの始動	13
Netfinity クライアントサービス (OS/2 版) のインストール・プログラムの始動	14
Netfinity クライアントサービス (Windows 版) のインストール・プログラムの始動	15
Netfinity クライアントサービス (Windows 95 版) のインストール・プログラムの始動	16
Netfinity クライアントサービス (Windows NT 版) のインストール・プログラムの始動	17
第4章 Netfinity クライアントサービスのインストール	19
第5章 Netfinity の始動	25
Netfinity サービス・マネージャー	26
Netfinity サービス・プログラムの説明	27
アラート・マネージャー	28
クリティカル・ファイル・モニター	28
DMI ブラウザー	29
ECC メモリー・セットアップ	29
事前障害分析	29
RAID マネージャー	29

安全保護マネージャー	30
シリアル接続制御	30
ソフトウェア・インベントリ	30
システム情報ツール	30
システム・モニター	31
システム区画アクセス	31
システム・プロファイル	31
Netfinity 始動の遅延 (OS/2 のみ)	32
付録A. インストール構成	33
スタンドアロン機能	33
パッシブ・クライアント機能	34
アクティブ・クライアント機能	35
付録B. 特記事項	37
商標	38
索引	39

本書は、Netfinity クライアントサービスのインストールおよび開始に関する手順を説明しています。また、Netfinity の個々のサービスの使用方法についても説明しています。

本書の対象読者

本書は、ローカルおよびリモートのハードウェア・システム管理のために Netfinity サービスをインストールし、使用する人を対象として書かれています。

本書を利用するためには、お使いになるオペレーティング・システム、ネットワーク操作、およびデータベース機能に関する一般的な知識が必要になります。

第1章 Netfinity の製品説明

Netfinity は、ネットワークのシステム監視と管理機能を拡張するために設計された分散アプリケーションのグループです。Netfinity は、柔軟なモジュラー設計になっているので、さまざまなシステムに対応する構成が可能です。ネットワーク環境内、あるいはスタンドアロン・システムとして、個々のシステムに必要なプログラム・ファイルをインストールするだけで、それぞれのシステムに合わせて構成することができます。さらに、Netfinity にはモジュラー性があるため、基本プログラムを再インストールすることなく、変更を加えたり、新たにサービスを追加することができます。Netfinity は、現在必要な機能やアプリケーションの柔軟性ととともに、将来必要になるシステム拡張性にも対応します。

Netfinity クライアントサービスを使用すると、ネットワーク管理者は作業を中断せずに、リモートから効果的にシステムを監視および管理できます。Netfinity サービス・プログラムをバックグラウンドで実行すれば、システムで処理されている作業が中断されることはありません。その一方で、ネットワーク管理者は、ネットワークのシステム状況を監視できるため、問題が大きくなる前にそれらを予測したり解決したりすることができます。

Netfinity クライアントサービスには、シリアル接続制御サービスも含まれています。このサービスを使うと、Netfinity サービス・マネージャーはシステムのモデムを介してリモートからシステムにアクセスし管理することができます。システム管理者によるシステムの監視、管理、および問題解決のために、ネットワークに接続する必要もなくなります。シリアル接続制御サービスを構成すると、Netfinity サービス・マネージャーがシステムにダイヤルすれば、ネットワーク上のシステムにアクセスするように、安全保護マネージャーによってアクセスを許可された Netfinity サービスにアクセスすることができます。

さらに、Netfinity クライアントサービスを使用すると、お客様自身のシステムを LAN に接続されている、いないにかかわらず、管理および監視することができます。Netfinity クライアントサービスは、ユーザーがご使用のシステムの Netfinity サービスに、要求水準に見合った、さまざまなレベルのインストール構成を提供しています。

システムのハードウェア構成と、インストール時のインストール構成によって、次の Netfinity サービス・プログラムの一部または全部をシステムで使用できるようになります。

- アラート・マネージャー
- クリティカル・ファイル・モニター
- DMI ブラウザー
- 安全保護マネージャー
- シリアル接続制御
- ソフトウェア・インベントリー
- システム情報ツール
- システム・モニター
- システム・プロファイル
- ECC メモリー・セットアップ (ECC メモリーが必要)
- システム区画アクセス (システム区画が必要)
- 事前障害分析 (PFA 利用可能なハード・ディスク・ドライブが必要)
- RAID マネージャー (RAID アダプターが必要)

ロードマップ

表1 は、Netfinity の使用を開始する前に参照すべき各章を示しています。

表 1. ロードマップ

内容	参照すべき章
Netfinity クライアントサービスをインストールする	19ページの第4章、『Netfinity クライアントサービスのインストール』
対象読者について知る	vページの『本書について』
Netfinity 製品全般を知る	1ページの第1章、『Netfinity の製品説明』
Netfinityを開始する	25ページの第5章、『Netfinity の始動』
インストール・プログラムを開始する	13ページの第3章、『インストール・プログラムの始動』
インストール構成を理解する	33ページの付録A、『インストール構成』
システム要件を理解する	5ページの第2章、『システム要件』

本書の表記規則

本書の表記規則は次のとおりです。

太字体	選択すべき項目の名前、あるいはコマンド名を示します。
イタリック体	新出の用語、本のタイトル、あるいは実際の値で置き換えられるべき変数の情報を示します。
モノスペース体	例（仮のパス名、またはファイル名など）あるいは、画面に表示されるテキストを示します。

Netfinityサービス・プログラムの最小システム要件は、オペレーティング・システムによって異なります。

- Netfinity クライアントサービス (OS/2 版) をインストールする場合は、6ページの『Netfinity クライアントサービス (OS/2 版) のシステム要件』を参照してください。
- Netfinity クライアントサービス (Windows 版) をインストールする場合は、8ページの『Netfinity クライアントサービス (Windows 版) のシステム要件』を参照してください。
- Netfinity クライアントサービス (Windows 95 版) をインストールする場合は、9ページの『Netfinity クライアント サービス (Windows 95 版) のシステム要件』を参照してください。
- Netfinity クライアントサービス (Windows NT 版) をインストールする場合は、11ページの『Netfinity クライアントサービス (Windows NT 版) のシステム要件』を参照してください。

Netfinity クライアントサービス (OS/2 版) のシステム要件

Netfinity クライアントサービス (OS/2 版) の最小システム要件は、以下のとおりです。

- OS/2 バージョン 3.0 またはそれ以降のバージョン
- 約 7.7 MB* ~ 12 MB のハードディスク・スペース (必要なスペースは、システムの構成によって異なります。)
- LAN アダプター・カード、および以下のうちの 1 つまたは複数の通信プロトコル

注: LAN アダプターと通信プロトコルは、スタンドアロン操作では必要ありません。

- IBM TCP/IP for OS/2 バージョン 1.2 (Web 拡張機能の付いた Netfinity マネージャーでは、バージョン 2.0 またはそれ以降のリリースが必要です)。
- NetBIOS

注: Netfinity の NetBIOS の要件は、3 つの名前、2 つのセッション、および 9 つのネットワーク制御ブロック (NCB) です。

- IPX
- SNA

Netfinity は、次の SNA プロトコル・スタックをサポートします。

オペレーティング・システム サポートする **SNA** スタック

OS/2	IBM Communications Manager/2 Version 1.11
-------------	--

Windows 95	PCOMM 4.1
-------------------	-----------

Windows NT	
-------------------	--

- IBM Communications Server for Windows NT
- Microsoft SNA Server version 2.11 (サービス・パック 1 および

* ハードディスク・ドライブ容量の記述では、MB は約 1000000 バイトを意味します。ユーザーが使用可能な総スペースは、操作環境によって異なります。

97/01/22 の日付またはそれ以降の WCPIC32.DLL が必要) この DLL は、Microsoft より入手できます。

注: Netfinity マネージャー・プログラムを Microsoft SNA Server で使用する場合には、Microsoft SNA Server クライアントが稼働するシステムと通信することはできません。
Netfinity は、Microsoft SNA Server ソフトウェアの稼働するシステムのサーバー間の通信のみをサポートします。ただし、Microsoft SNA Server で稼働する Netfinity システムは、サポートする他の SNA スタックを使用する Netfinity システムと通信することが可能です。

- 9600 bps 以上の速度のモデム (任意選択)

注: シリアル接続制御は、モデムが正しくインストールされ、構成されていないシステムでは機能しません。

Netfinity クライアントサービス (Windows 版) のシステム要件

Netfinity クライアントサービス (Windows 版) の最小システム要件は、以下のとおりです。

- Microsoft Windows 3.1 (386 拡張モードのみ)
- 約 7.3 MB ~ 11.2 MB のハードディスク・スペース (必要なスペースは、システムの構成によって異なります。)
- LAN アダプター・カード、および以下のうちの 1 つまたは複数の通信プロトコル

注: LAN アダプターと通信プロトコルは、スタンドアロン操作では必要ありません。

- IBM TCP/IP for DOS バージョン 2.1 または WinSock バージョン 1.1 互換の TCP/IP 製品
- NetBIOS

注: Netfinity の NetBIOS 要件は、3 つの名前、2 つのセッション、および 9 つのネットワーク制御ブロック (NCB) です。

- IPX

- 9600 bps 以上の速度のモデム (任意選択)

注: シリアル接続制御は、モデムが正しくインストールされ、構成されていないシステムでは機能しません。

Netfinity クライアント サービス (Windows 95 版) のシステム要件

Netfinity クライアントサービス (Windows 95 版) の最小システム要件は、以下のとおりです。

- Microsoft Windows 95
- 約 13.5 MB ~ 18.1 MB のハードディスク・スペース (必要なスペースは、システムの構成によって異なります。)
- LAN アダプター・カード、および以下のうちの 1 つまたは複数の通信プロトコル

注: LAN アダプターと通信プロトコルは、スタンドアロン操作では必要ありません。

- TCP/IP (WinSock バージョン 1.1 互換のもの)
- NetBIOS

注: Netfinity の NetBIOS 要件は、3 つの名前、2 つのセッション、および 9 つのネットワーク制御ブロック (NCB) です。

- IPX
- SNA

Netfinity は、次の SNA プロトコル・スタックをサポートします。

オペレーティング・システム サポートする **SNA** スタック

OS/2 IBM Communications Manager/2
Version 1.11

Windows 95 PCOMM 4.1

Windows NT Microsoft SNA Server version 2.11 (サービス・パック 1 および 97/01/22 の日付またはそれ以降の WCPIC32.DLL が必要) この DLL は、Microsoft より入手できます。

注: Netfinity マネージャー・プログラムを Microsoft SNA Server で使用する場合には、Microsoft SNA Server

クライアントが稼働するシステムと通信することはできません。

Netfinity は、Microsoft SNA Server ソフトウェアの稼働するシステムのサーバー間の通信のみをサポートします。ただし、Microsoft SNA Server で稼働する Netfinity システムは、サポートする他の SNA スタックを使用する Netfinity システムと通信することが可能です。

- 9600 bps 以上の速度のモデム (任意選択)

注: シリアル接続制御は、モデムが正しくインストールされ、構成されていないシステムでは機能しません。

Netfinity クライアントサービス (Windows NT 版) のシステム要件

Netfinity クライアントサービス (Windows NT 版) の最小システム要件は、以下のとおりです。

- Microsoft Windows NT 3.51 またはそれ以降のリリース
- 約 13.5 MB ~ 18.1 MB のハードディスク・スペース (必要なスペースは、システムの構成によって異なります。)
- LAN アダプター・カード、および以下のうちの 1 つまたは複数の通信プロトコル

注: LAN アダプターと通信プロトコルは、スタンドアロン操作では必要ありません。

- TCP/IP (WinSock バージョン 1.1 互換のもの)
- NetBIOS

注: Netfinity の NetBIOS 要件は、3 つの名前、2 つのセッション、および 9 つのネットワーク制御ブロック (NCB) です。

- IPX
- SNA

Netfinity は、次の SNA プロトコル・スタックをサポートします。

オペレーティング・システム サポートする **SNA** スタック

OS/2 IBM Communications Manager/2
Version 1.11

Windows 95 PCOMM 4.1

Windows NT Microsoft SNA Server version 2.11 (サービス・パック 1 および 97/01/22 の日付またはそれ以降の WCPIC32.DLL が必要) この DLL は、Microsoft より入手できます。

注: Netfinity マネージャー・プログラムを Microsoft SNA Server で使用する場合には、Microsoft SNA Server

クライアントが稼働するシステムと通信することはできません。
Netfinity は、Microsoft SNA Server ソフトウェアの稼働するシステムのサーバー間の通信のみをサポートします。ただし、Microsoft SNA Server で稼働する Netfinity システムは、サポートする他の SNA スタックを使用する Netfinity システムと通信することが可能です。

- 9600 bps 以上の速度のモデム (任意選択)

注: シリアル接続制御は、モデムが正しくインストールされ、構成されていないシステムでは機能しません。

注:

1. Netfinity をローカルまたはリモートで Windows NT で使用する全ユーザーが、システムへの管理者レベルのアクセス権限を持っていると、Windows NT システムを効果的に管理できます。
2. クラスター・マネージャーが稼働するのは、Microsoft Windows NT Workstation バージョン 4.0 サービス・パック 3 付きが稼働し、Microsoft Cluster Server (MSCS) 管理コンソールが導入されているシステムの場合だけです。MSCS は Microsoft Windows NT Server バージョン 4.0 Enterprise Edition に組み込まれています。MSCS 管理コンソールのインストール方法の説明については、Windows NT Server Enterprise Edition に付属している資料を参照してください。

第3章 インストール・プログラムの始動

Netfinity クライアントサービス (OS/2 版)、Netfinity クライアントサービス (Windows 版)、Netfinity クライアントサービス (Windows 95 版)、および Netfinity クライアントサービス (Windows NT 版) の Netfinity インストール・プログラムはいずれも同じです。ただし、インストール・プログラムを始動する手順は、使用するオペレーティング・システムによって異なります。

- OS/2 を実行している場合には、14ページの『Netfinity クライアントサービス (OS/2 版) のインストール・プログラムの始動』を参照してください。
- Windows 3.1 を実行している場合には、15ページの『Netfinity クライアントサービス (Windows 版) のインストール・プログラムの始動』を参照してください。
- Windows 95 を実行している場合には、16ページの『Netfinity クライアントサービス (Windows 95 版) のインストール・プログラムの始動』を参照してください。
- Windows NT を実行している場合には、17ページの『Netfinity クライアントサービス (Windows NT 版) のインストール・プログラムの始動』を参照してください。

Netfinity クライアントサービス (OS/2 版) のインストール・プログラムの始動

OS/2 を実行しているシステムで、Netfinity クライアントサービスのインストール・プログラムを始動するには、次のようにしてください。

1. OS/2 を使用して、コンピューターを始動します。
2. OS/2 全画面、または OS/2 ウィンドウ・セッションを開始します。
3. Netfinity CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
4. CD-ROM ドライブをアクティブ・ドライブにします。

たとえば、CD-ROM ドライブが D ドライブである場合には、コマンド・プロンプトに次のように入力します。

D:

そして、**Enter**キーを押します。

5. Netfinity クライアントサービス (OS/2 版) のディレクトリーをアクティブ・ディレクトリーにします。

次のコマンドを入力します。

```
CD OS2¥SERVICES
```

そして、**Enter** キーを押します。

6. インストール・プログラムを始動します。

次のコマンドを入力します。

```
NETFINST
```

そして、**Enter** キーを押します。

インストールを完了するには、19ページの第4章、『Netfinity クライアントサービスのインストール』を参照してください。

Netfinity クライアントサービス (Windows 版) のインストール・プログラムの始動

Windows を実行しているシステムで Netfinity クライアントサービスのインストール・プログラムを始動するには、次のようにしてください。

1. Windows を使用して、コンピューターを始動します。
2. Netfinity CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
3. 「プログラム マネージャ」から「アイコン」プルダウン・メニューを選択します。
4. 「アイコン」プルダウン・メニューから「名前を指定して実行」を選択します。
5. 次のコマンドを入力します。

```
x:¥WIN3X¥SERVICES¥NETFINST
```

x には「コマンド・ライン」フィールドで CD-ROM ドライブのドライブ名を指定してください。次に「OK」を選択します。

インストールを完了するには、19ページの第4章、『Netfinity クライアントサービスのインストール』を参照してください。

Netfinity クライアントサービス (Windows 95 版) のインストール・プログラムの始動

Windows 95 を実行しているシステムで Netfinity クライアントサービスのインストール・プログラムを始動するには、次のようにしてください。

1. Windows 95 を使用して、コンピューターを始動します。
2. Netfinity CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
3. 「スタート」ボタンを選択します。
4. 「スタート」ボタン・メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。
5. 次のコマンドを入力します。

```
x:¥WIN95¥SERVICES¥NETFINST
```

x には「コマンド・ライン」フィールドで CD-ROM ドライブのドライブ名を指定してください。次に「OK」を選択します。

インストールを完了するには、19ページの第4章、『Netfinity クライアントサービスのインストール』を参照してください。

Netfinity クライアントサービス (Windows NT 版) のインストール・プログラムの始動

Windows NT 3.51 を実行しているシステムで Netfinity クライアントサービスのインストール・プログラムを始動するには、次のようにしてください。

1. Windows NT 3.51 を使用して、コンピューターを始動します。
2. Netfinity CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
3. 「プログラム マネージャ」から「アイコン」プルダウン・メニューを選択します。
4. 「アイコン」プルダウン・メニューから「名前を指定して実行」を選択します。
5. 次のコマンドを入力します。

```
x:¥WINNT¥SERVICES¥NETFINST
```

x には「コマンド・ライン」フィールドで CD-ROM ドライブのドライブ名を指定してください。次に「OK」を選択します。

Windows NT 4.0 を実行しているシステムで Netfinity クライアントサービスのインストール・プログラムを始動するには、次のようにしてください。

1. Windows NT 4.0 を使用して、コンピューターを始動します。
2. Netfinity CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
3. 「スタート」ボタンを選択します。
4. 「スタート」ボタン・メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。
5. 次のコマンドを入力します。

```
x:¥WINNT¥SERVICES¥NETFINST
```

x には「コマンドライン」フィールドで CD-ROM ドライブのドライブ名を指定してください。次に「OK」を選択します。

インストールを完了するには、19ページの第4章、『Netfinity クライアントサービスのインストール』を参照してください。

第4章 Netfinity クライアントサービスのインストール

Netfinity クライアントサービスのインストール方法は、以下のとおりです。

1. Netfinity プログラム・ファイルのコピー元のドライブとディレクトリーを選択します。

Netfinity プログラム・ファイルのあるドライブとディレクトリー名を、「インストール元ディレクトリー」フィールドに入力します。デフォルトは、Netfinity インストール・プログラムを始動したドライブとディレクトリーです。

2. Netfinity プログラム・ファイルのインストール先のドライブとディレクトリーを選択します。

Netfinity プログラム・ファイルのコピー先のドライブとディレクトリー名を入力します。デフォルトは **C:¥NETFIN** (OS/2 を実行しているシステムの場合) または **C:¥WNETFIN** (Windows、Windows 95、または Windows NT を実行しているシステムの場合) です。

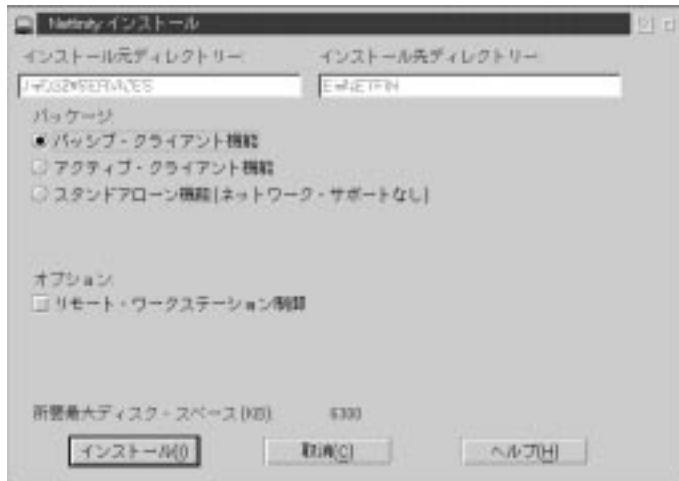


図 1. Netfinity インストール・プログラム

3. インストールの構成を選択します。

Netfinity インストール・プログラムには、3つのインストール構成があります。各構成は、そのシステムの操作に必要な Netfinity プログラム・ファイルだけをインストールするように設計されています。使用可能なインストール構成は以下の3つです。

- スタンドアロン機能

ネットワークに接続されていないシステムに Netfinity サービス・プログラムをインストールして、Netfinity のローカル・システム管理機能を使用する場合は、スタンドアロン機能を選択します。

- パッシブ・クライアント機能

リモート・システム管理を簡素化するために、Netfinity クライアントサービスをシステムにインストールする場合には、パッシブ・クライアント機能を選択します。

注: パッシブ・クライアント機能は、Netfinity マネージャーによるパッシブ・クライアント・システムのリモート管理やアクセスのために特別に設計されています。アラート・マネージャー、安全保護マネージャーとシリアル接続制御を除き、Netfinity クライアントサービスへのローカル・アクセスはできません。

- アクティブ・クライアント機能

Netfinity マネージャーによってリモート・システム・アクセスおよび管理を簡素化し、かつ、ローカル・システム管理を拡張するために、LAN に接続されたシステムに Netfinity クライアントサービスをインストールする場合には、アクティブ・クライアント機能を選択します。

使用可能なインストール構成に関する詳細については、33ページの付録 A、『インストール構成』を参照してください。

4. インストール・オプションを選択します。

Netfinity インストール・プログラムには、オプションが提供されています。各オプションには、この製品の特別機能が追加されています。

使用可能なインストール・オプションは、以下のとおりです。

- リモート・ワークステーション制御

システムでリモート・ワークステーション制御サービスを使用可能にする場合には、リモート・ワークステーション制御を選択します。

5. Netfinity マネージャー用のクライアントサービスをインストールします。

インストール構成の選択後、「インストール」を選択します。インストール・プログラムは、選択されたインストール構成に必要なすべてのプログラム・ファイルをコピーします。コピー中のファイル名と、インストールが完了した割合を示すウィンドウが表示されます。

注: インストール・プロセスを中止するには、「取消」を選択します。

6. ネットワーク・ドライバーを構成します。

選択したインストール構成で、ネットワークへのアクセスが可能な場合は、システムでサポートされる通信プロトコルに関する情報を入力する必要があります。「ネットワーク・ドライバー構成」ウィンドウが表示されます。

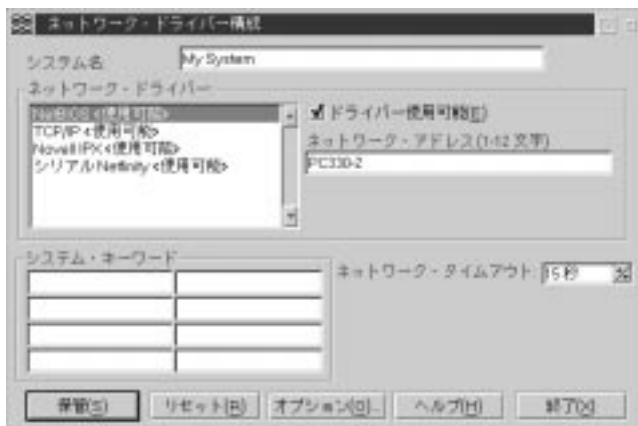


図 2. Netfinity インストール - 「ネットワーク・ドライバー構成」ウィンドウ

次の手順に従い、システムの構成を続けます。

a. システム名を入力します。

システムの名前を「システム名」フィールドに入力します。ネットワーク管理者は、このシステム名でネットワーク上のシステムを識別することができます。

b. ネットワーク・ドライバーを選択します。

「ネットワーク・ドライバー」フィールドに表示される使用可能なネットワーク・ドライバーから、いずれか 1 つを選択します。選択されたネットワーク・ドライバーにより、システムにネットワーク・アドレスが割り当てられます。

注:

- 1) IPX または TCP/IP ネットワーク・ドライバーを使用可能にしても、このアドレスは更新することができず、画面にも表示されません。
- 2) NetBIOS ネットワーク・ドライバーを使用可能にすると、ネットワーク・アドレスが 1 つ選択され、「ネットワーク・アドレス」フィールドに表示されます。このデフォルト名を変更するときは、1 から 8 文字の任意のアドレスが入力できます。ただし、このアドレスは、システムに固有のものでなければなりません。この NetBIOS アドレスが、ネットワーク上のほかのシステムの NetBIOS アドレスと同一の場合、Netfinity は正しく始動しません。
- 3) シリアル Netfinity ドライバーを使用可能にする場合は、固有のマシン・ダイヤルアップ名を使ってシステムを識別する必要があります。この名前は 32 バイトまでの長さで指定できますが、システムに固有のものでなければなりません。この名前が固有でないと、リモートの Netfinity マネージャーは、シリアル接続制御サービスを使用してシステムにアクセスすることができません。固有のマシン・ダイヤルアップ名が不明な場合は、ネットワーク管理者に連絡するか、Netfinity マネージャーを調べてください。

c. ネットワーク・ドライバーを使用可能にします。

必要な情報をすべて入力した後で、「ドライバー使用可能」チェック・ボックスを選択して、始動時にドライバーがアクティブになるようにします。

複数のネットワーク・インターフェースがシステムでサポートされている場合、6a (21ページ) から 6cのステップを繰り返して、さらにネットワーク・ドライバーを追加することができます。

d. システム・キーワードを指定してシステムを識別します。(任意選択)

システムが Netfinity ネットワークの一部である場合、Netfinity ネットワーク管理者は、システムにシステム・キーワードを与えて、ネットワーク上でのシステムの識別に使用することができます。Netfinity クライアントサービスの機能には必ずしもシステム・キーワードは必要ありません。システム・キーワードに関する質問は、ネットワーク管理者にお尋ねください。

e. Netfinity オプションを選択します。(任意選択)

「オプション」ウィンドウは、Netfinity ネットワーク操作に影響する特別なオプションを含んでいます。使用可能なオプションは次のとおりです。

- 「サービス実行アラート」

「サービス実行アラート」オプションを使用可能にすると、システムにアクセスしているリモート・ユーザーによって Netfinity サービスが開始されるたびに、Netfinity サービス・マネージャーは、Netfinity アラートを生成します。このアラートには、実行されたサービスの名前と、サービスを開始したユーザーに関する情報が含まれます。

このオプションを実行するには、「オプション」を選択し、「サービス実行アラート」を選択してから、「保管」を選択します。

- 「ネットワーク・サポートの表示」

「ネットワーク・サポートの表示」オプションを使用可能にすると、Netfinity サポート・プログラム (ネットワーク・インターフェース) が画面下にアイコン化されたり (Windows 3.1、Windows for Workgroups、または Windows NT 3.51 のみ)、Windows NT 4.0 または Windows 95 のタスクバーや OS/2 のタスク・リストに最小化プロセスとして表示されるようになります。これにより、ユーザーは Netfinity サポート・プログラムを遮断できるようになります。Netfinity サポート・プログラムをユーザーから隠しておきたい場合には、このオプションを使用可能にしないでください。

- 「画面アクセスにはユーザーの認可が必要」

「画面アクセスにはユーザーの認可が必要」オプションを使用可能にすると、リモート・ユーザーは、許可を得ずにシステム上の「リモート・ワークステーション制御」や「画面表示」を使用することができなくなります。このオプションが使用可能なときに、リモート・ユーザーがシステム上のこれらのサービスのいずれかを使用しようとする、デスクトップにウィンドウが表示され、リモート・ユーザーが「リモート・ワークステーション制御」サービスや「画面表示」サービスの使用を試行していることを知らせ、当該ユーザーにサービスの使用を許可するかどうかを尋ねてきます。「はい」、「いいえ」のどちらかを選択してください。15 秒以内に選択しなかった場合 (アクセスの試行時に離席していたなど)、Netfinity がリモート・ユーザーによるサービスの使用を自動的に拒絶します。

f. ネットワーク・タイムアウト値を設定します。(任意選択)

「ネットワーク・タイムアウト」フィールドには、Netfinity が応答しないリモート・システムに対し、通信を試みる秒数を表示します。設定時間内にリモート・システムとの接続が確立できないと、Netfinity は通信の試行を取り消します。ネットワーク・タイムアウト値のデフォルトは、15 秒です。通常は、このデフォルト設定を変更する必要はありません。ネットワーク・タイムアウト値に関する質問は、ネットワーク管理者にお尋ねください。

g. 構成を保管して続行します。

「保管」を選択して、構成を保管します。そのあとで、「終了」を選択して次に進みます。

注: この構成は、Netfinity フォルダから「ネットワーク・ドライバー構成」オブジェクトを選択すると、インストール終了後にも変更することができます。

7. ネットワーク・アクセス用のシステム構成 (使用可能な場合) を完了すると、インストール・プログラムが、システム構成ファイルに必要な変更のリストを表示し、それらを変更するかどうか尋ねてきます。たとえば、Netfinity サービス・プログラム (Windows 版) をインストールしている場合、インストール・プログラムは、CONFIG.SYS ファイルや AUTOEXEC.BAT ファイルに必要な変更のリストを表示します。

「はい」 または 「いいえ」 を選択します。

注: Netfinity が正しく作動するためには、システム構成にこれらの変更を行う必要があります。

- 「はい」を選択した場合には、システム構成が自動的に変更されます。
- 「いいえ」を選択した場合は、後で変更を追加できるように、宛先ディレクトリーに CONFIG.NEW (および、場合によっては AUTOEXEC.NEW) という名前で保管されます。

8. これでインストールが完了しました。システム構成の変更を有効にするために、システムを再始動する必要があります。

Netfinity を始動するには、次のようにします。

1. Netfinity フォルダーまたはプログラム・グループをオープンします。

Netfinity クライアントサービスのインストール時に、Netfinity フォルダー (OS/2、Windows 95 および Windows NT 4.0 のみ) または Netfinity プログラム・グループ (Windows 3.1 および Windows NT 3.51 のみ) がデスクトップに追加されます。この Netfinity フォルダー、または Netfinity プログラム・グループは、Netfinity サービス・マネージャー・オブジェクトを含んでいます。



図 3. Netfinity フォルダー

注: Netfinity フォルダーまたは Netfinity プログラム・グループには、「はじめに」というオブジェクトが入っています。この文書には、お手持ちの資料には記載されていない Netfinity 関連情報が含まれています。Netfinity フォルダーは、ネットワーク・プロトコルとシステム・キーワードの再構成をするための「ネットワーク・ドライバ構成」オブジェクトも含んでいます。

2. Netfinity サービス・マネージャーを開始します。

Netfinity サービス・マネージャーを開始するには、「Netfinity サービス・マネージャー」オブジェクトをマウス・ボタン 1 でダブルクリックします。

Netfinity サービス・マネージャー

システムでサポートされるすべての Netfinity サービスは、「Netfinity サービス・マネージャー」ウィンドウから開始されます。使用可能なサービスは、インストール時に選択されたインストール構成によって異なります (33ページの付録A、『インストール構成』を参照)。

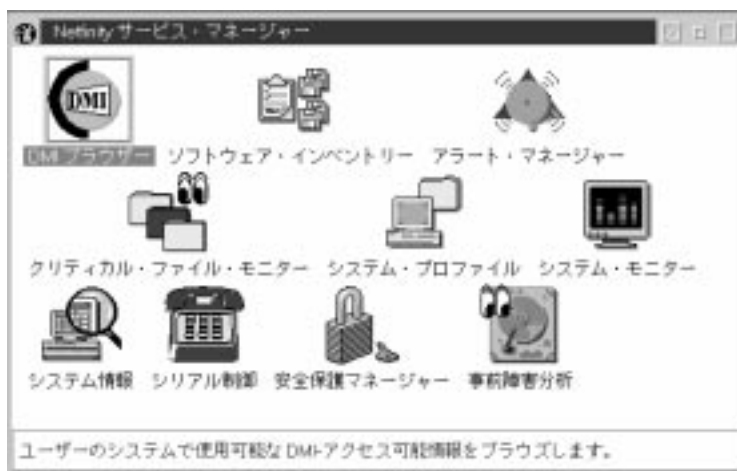


図 4. Netfinity サービス・マネージャー。「アクティブ・クライアント機能」のインストール構成が選択された場合、上図のサービスがインストールされます。

「Netfinity サービス・マネージャー」ウィンドウに表示されている Netfinity サービスのいずれかを開始するには、そのサービス・プログラムのアイコンをダブルクリックします。

Netfinity サービス・プログラムの説明

各 Netfinity サービスは、基本プログラムとグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) から構成されています。サービス基本プログラムをユーザーが直接アクセスすることはできません。サービス GUI が、それぞれの基本プログラムと共に機能している場合には、ローカル・ユーザーは、サービスにアクセスすることができます。

一部のサービスは、特別なハードウェア構成を持つシステムだけで使用可能です。このようなサービスには、以下のものがあります。

- DMI ブラウザー (DMI サービス・レイヤーがインストールされ、機能していることが必要)
- ECC メモリー・セットアップ (ECC メモリーが必要)
- 事前障害分析 (PFA 利用可能なハード・ディスク・ドライブが必要)
- RAID マネージャー (RAID ハード・ディスク・ドライブ・サブシステムが必要)
- システム区画アクセス (組み込み型のシステム区画が必要)

各 Netfinity サービスの概略を次に示します。これらのサービスの詳細な使用方法については、*Netfinity クライアントサービス ユーザーズ・ガイド* の各サービスの章を参照してください。

アラート・マネージャー

アラート・マネージャーは、アプリケーションで生成されたアラートを受信し処理できる拡張可能な機能です。アラートに応じてさまざまなアクションをとることができます。アクションの例としては、アラートの記録、ユーザーへの通知、ほかのシステムへのアラートの転送、プログラムの実行、WAV ファイルの再生 (マルチメディア・システムでのみ使用可能)、SNMP アラート・メッセージの生成、デジタル・ページャーへのメッセージ転送 (モデムを装備しているシステムでのみ使用可能)、アプリケーションで定義したアクションの実行などが挙げられます。ユーザーは、高度な柔軟性をもつアクション管理インターフェースを使用して、アクションを定義することができます。

さらに、アラート・マネージャーが受信したすべてのアラートは、広範囲にわたる詳細なログとして保管されます。ログから入手可能な情報には、アラートを受信した日付と時刻、アラートのタイプと重大度、アラートを生成したアプリケーションの ID、およびアラート・マネージャーが生成したテキストやアラート・マネージャーが実行したアクションなどが含まれます。アラートは、個々に、または複数個同時にログから選択して、あとで参照するために印刷したり、問題の解決後にログから削除したりできます。このサービスは、スタンドアロン機能、ネットワーク機能の両方で使用可能です。

クリティカル・ファイル・モニター

クリティカル・ファイル・モニターを使用すると、システム内の重要なシステム・ファイルが削除されたり変更されたときに警告を受けられるようになります。クリティカル・ファイル・モニターによって、重要なシステム・ファイル (CONFIG.SYS ファイルなど) の日付、時刻、サイズが変更されたり、削除または作成されたりしたときに、Netfinity アラートを簡単に生成することができます。また、Netfinity システムに存在しているファイルは、すべてクリティカル・ファイル・モニターで監視することができます。

DMI ブラウザー

DMI ブラウザーを使用すると、システムにインストールまたは接続されている DMI に準拠するハードウェア製品とソフトウェア製品に関する情報を調べることができます。

ECC メモリー・セットアップ

ECC メモリー・セットアップは、ECC メモリーのシングル・ビット・エラーを監視し、エラーが検出されると ECC メモリーを自動的に“スクラブ” (修正) します。また、シングル・ビット・エラーのカウントを実行し、ECC シングル・ビット・エラーのしきい値を超えた場合にマスク不能割り込み (NMI) を発生させるシングル・ビット・エラーしきい値を設定することができます。このサービスは、ECC メモリー搭載のシステムであれば、スタンドアロン機能、ネットワーク機能の両方で使用可能です。

事前障害分析

事前障害分析 (PFA) サービスを使用すると、PFA 対応のハード・ディスク・ドライブを継続して監視および管理することができます。PFA 対応のハード・ディスク・ドライブは、ドライブの問題や損傷を、それらが発生する前に検出したり予測したりできるようにハードウェアが設計されているので、データ損失やシステムダウンを防ぐために役立てることができます。

RAID マネージャー

RAID マネージャーを使用すると、保守のために RAID システムをオフラインにすることなく、**RAID** (Redundant Arrays of Independent Disks) アダプターや RAID アレイを監視、管理、構成することができます。RAID マネージャーは、システムの RAID アレイと RAID アダプターに関するデータの収集、障害のあるドライブの再構築、論理ドライブの追加 (または削除)、データの保全性テストの実行、およびその他のさまざまな RAID システムのタスクを実行することができます。このサービスは、RAID アダプターがサポートされているシステムであれば、スタンドアロン機能、ネットワーク機能の両方で使用可能です。

安全保護マネージャー

安全保護マネージャーによって、ユーザーの Netfinity サービス・プログラムの一部または全体への無許可アクセスを防ぐことができます。このサービスは、ユーザー ID とパスワードの組み合わせを使用するもので、ネットワーク機能でのみ使用可能です。

注： システムが、ネットワーク操作用に構成されている場合 (アクティブ・クライアント・インストールまたはパッシブ・クライアント・インストール)、画面上には表示されていないプログラム名が安全保護マネージャーに表示されることがあります。これは、リモート・システム管理用のサポート・プログラムです。このサービスに関する着信ユーザー ID とパスワードの組み合わせの設定については、ネットワーク管理者にお尋ねください。

シリアル接続制御

シリアル接続制御サービスを使用すると、電話回線とモデムを介してリモートの Netfinity マネージャーからシステムにアクセスできます。シリアル接続制御サービスによって、ネットワークに接続することなく、Netfinity のリモート・システム・アクセス機能、監視機能および管理機能を使用することができます。

注： シリアル接続制御サービスを使用するには、少なくとも 9600 bps をサポートするモデムをシステムに正しくインストールし、構成しなければなりません。

ソフトウェア・インベントリー

ソフトウェア・インベントリーを使用すると、システムにインストールされているすべてのアプリケーション・プログラムのインベントリーを簡単に保守するためのソフトウェア製品辞書を作成、管理することができます。

システム情報ツール

システム情報ツールを使用すると、システムのハードウェアおよびソフトウェアの構成に関する詳細情報を迅速かつ容易に取得できます。システム情報ツールは、ほとんどすべてのコンピューターに関する情報を収集することができますが、IBM のコンピューターで使用すると特に詳しい情報が得られます。このサービスは、スタンドアロン機能、ネットワーク機能の両方で使用可能です。

システム・モニター

システム・モニターを使用すると、プロセッサの使用率、ディスク・スペースの使用率、ECC メモリー・エラーなどの、システム内の複数の構成要素の活動を簡単に図式化して監視することができます。このモニターは、非表示にしたり、サイズの変更が可能のため、常に必要なモニターだけを表示させることができます。システム・モニターのしきい値マネージャーを使用すると、監視対象の構成要素にしきい値レベルを設定することができます。このしきい値を超えると、ユーザーが構成したアラートが生成されます。

データは、システムが始動してから継続して収集されます。この高精度なデータ処理技法は、個々の値に重みが付けられて、複数の並行するサンプルの平均値が算出され、長時間のシステム活動を正確に反映する値として記録するために使用されます。この技法を使用すると、膨大なデータ・ファイルを作成することなくシステムの活動記録を管理できます。このサービスは、スタンドアロン機能、ネットワーク機能の両方で使用可能です。

システム区画アクセス

システム区画アクセスを使用すると、ローカルおよびリモートの両方で、システム区画ファイルの処理を大幅に簡素化することができます。システム区画にある個々のファイルやディレクトリー全体の名前を変更したり、削除したりすることができます。個々のファイルについては、名前の変更、削除、およびシステム区画へのコピーが可能です。また、区画全体のバックアップ、復元、削除も行えます。このサービスは、システム区画をサポートしているシステムであれば、スタンドアロン機能、ネットワーク機能の両方で使用可能です。

システム・プロファイル

システム・プロファイルは、特定のユーザーまたはシステムに関するデータが記録されている便利なノートブックを提供します。このノートブックには、氏名、住所、オフィス番号、位置、および電話番号などの広範囲なユーザー固有のデータ用フィールドがあらかじめ定義されています。また、システム・プロファイルには、システム情報ツールでは提供されない、モデル、製造番号、購入年月日などを含むシステム固有のデータ・フィールドもあらかじめ定義されています。さらに、ユーザーや管理者に必要なあらゆるデータの保存に使われ、ユーザーが自由に定義できる“その他”フィールドも提供されています。

Netfinity 始動の遅延 (OS/2 のみ)

場合によっては、Netfinity ネットワーク・インターフェース (NETFBASE.EXE) の自動始動を遅らせなければならない場合があります。これは時間の制約を受ける他のアプリケーションを正常に作動させたり、ネットワーク操作の開始に先立ってご使用のシステムを完全に構成したい場合です。NETFBASE.EXE には、WAIT というパラメーターを備えてあり、これによって始動前に NETFBASE.EXE を待たせる秒数を指定できます。

Netfinity のインストール中、「Netfinity ネットワーク・インターフェース」オブジェクトは、始動フォルダーにあります。Netfinity が指定された秒数の間待機してから開始するように構成するには、次のとおりになります。

1. Netfinity ネットワークが実行されている場合は、それを遮断します。
2. 「始動」フォルダーをオープンします。
3. マウス・ボタン 2 を使用して、「Netfinity ネットワーク・インターフェース」オブジェクトをクリックします。Netfinity ネットワーク・インターフェースのコンテキスト・メニューがオープンします。
4. 「設定」ウィンドウを選択して、Netfinity ネットワーク・インターフェースをオープンします。
5. 「パラメーター」フィールドに、次のように入力します。

WAIT:x

この x は、Netfinity ネットワーク・インターフェースが開始前に待機する秒数を示します。

6. Netfinity ネットワーク・インターフェースの「設定」ウィンドウをクローズします。

WAIT パラメーターを x に設定すると、システムを開始するたびに、Netfinity ネットワーク・インターフェースは開始前に x 秒間待機します。

注: この機能は、OS/2 が実行されているシステムでのみ使用可能です。

Netfinity クライアントサービスをインストールする際は、3 種類のインストール構成のいずれかを選択することができます。これらの構成のそれぞれが、Netfinity サービス・プログラムの固有のグループをシステムにインストールします。

スタンドアロン機能

このインストール構成は、次の基本プログラムとインターフェースをインストールします。

- Netfinity サービス・マネージャー
- システム情報ツール
- システム・プロファイル
- システム・モニター
- アラート・マネージャー
- クリティカル・ファイル・モニター
- ソフトウェア・インベントリー

また、システムがサポートしている場合、次のサービスもインストールします。

- ECC メモリー・セットアップ (ECC メモリーが必要)
- システム区画アクセス (システム区画が必要)
- 事前障害分析 (PFA 利用可能ハード・ディスク・ドライブが必要)
- RAID マネージャー (RAID アダプターが必要)
- DMI ブラウザー (DMI サービス・レイヤーが必要)

パッシブ・クライアント機能

このインストール構成は、次のプログラムをインストールします。

- Netfinity サービス・マネージャー
- ネットワーク・コミュニケーション・ドライバ
- アラート・マネージャー
- 安全保護マネージャー
- シリアル接続制御
- システムでサポートされる Netfinity サービス用すべての基本プログラム

注: パッシブ・クライアント機能は、Netfinity リモート・システム・マネージャーによるパッシブ・クライアント・システムのリモート管理およびアクセス用として特別に設計されています。アラート・マネージャー、安全保護マネージャー、およびシリアル接続制御を除き、Netfinity クライアント・サービスへのローカル・アクセスはできません。

アクティブ・クライアント機能

このインストール構成は、リモート・システム管理用に次のプログラムをインストールします。

- Netfinity サービス・マネージャー
- ネットワーク・コミュニケーション・ドライバー
- アラート・マネージャー用の基本プログラムおよびユーザー・インターフェース
- システムでサポートされる Netfinity サービス用すべての基本プログラム

ローカル・システム管理用に次のプログラムをインストールします。

- Netfinity サービス・マネージャー
- システム情報ツール
- システム・プロファイル
- システム・モニター
- アラート・マネージャー
- 安全保護マネージャー
- シリアル接続制御
- クリティカル・ファイル・モニター
- ソフトウェア・インベントリー

また、システムがサポートしている場合、次のサービスもインストールします。

- ECC メモリー・セットアップ (ECC メモリーが必要)
- システム区画アクセス (システム区画が必要)
- 事前障害分析 (PFA 利用可能ハード・ディスク・ドライブが必要)
- RAID マネージャー (RAID アダプターが必要)
- DMI ブラウザー (DMI サービス・レイヤーが必要)

本書において、日本では発表されていない IBM 製品 (機械およびプログラム)、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのような IBM 製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBM ライセンス・プログラムまたは他の IBM 製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができません。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM および他社は、本書で説明する主題に関する特許権 (特許出願を含む)、商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032
東京都港区六本木 3 丁目 2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

商標

本書において使用されている以下の用語は、米国およびその他の国における、IBM社の商標です。

IBM	Netfinity
OS/2	Predictive Failure Analysis

本書において使用されている次の用語は、他社の商標です。

cc:Mail	cc:Mail, Inc. division of Lotus Development Corporation
DMI	Desktop Management Task Force
IPX	Novell, Incorporated
Lotus Notes	Lotus Development Corporation
NetWare	Novell, Incorporated
Novell	Novell, Incorporated
Sportster	U. S. Robotics

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。

Tivoli は、Tivoli Systems の登録商標です。

これら以外の会社、製品、およびサービスの名前にも、他社の商標またはサービス・マークがあります。

日本語、英字、数字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

〔ア行〕

- アクティブ機能、クライアント 35
- アラート・マネージャー 28
- 安全保護マネージャー 30
- インストール 33
- インストール構成 33
 - アクティブ・クライアント機能 35
 - スタンドアロン機能 33
 - パッシブ・クライアント機能 34
- インストール・オプション 20
- インストール・プログラム 13
- インベントリ、ソフトウェア 30

〔カ行〕

- 区画アクセス、システム 31
- クライアント 34, 35
- クリティカル・ファイル・モニター 28
- 構成、インストールの 33

〔サ行〕

- システム区画アクセス 31
- システム情報ツール 30
- システム要件 5, 8, 9
 - Windows NT 11
- システム・プロファイル 31
- システム・モニター 31
- 事前障害分析 29
- 情報ツール、システム 30
- シリアル接続制御 30
- スタンドアロン機能 33
- 接続制御、シリアル 30
- ソフトウェア・インベントリ 30

〔タ行〕

- 特記事項 37
- ドライバー、ネットワークの 21

〔ハ行〕

- パッシブ機能、クライアント 34
- パッシブ・クライアント機能 34
- 表記規則 4
- プロファイル、システム 31

〔マ行〕

- メモリー・セットアップ、ECC 29

〔ヤ行〕

- 要件、システム 5

D

- DMI ブラウザー 29

E

- ECC メモリー・セットアップ 29

N

- Netfinity
 - サービス・プログラムの説明 27
- Netfinity サービス・プログラムのインストール 19
- Netfinity の開始 13, 25

O

- OS/2
 - インストール・プログラム 14
 - システム要件 6

OS/2 システムでの Netfinity 始動の遅延 32

R

RAID マネージャー 29

W

Windows

インストール要件 9

インストール・プログラム 8, 15

Windows インストール・プログラム 13

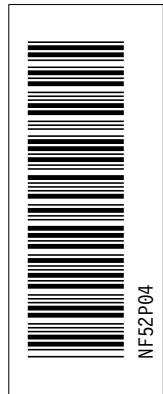
空白ページ

空白ページ

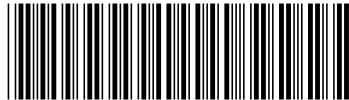
IBM

部品番号: NF52P04

Printed in Japan



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12



SA88-6557-00